

小節	練習曲と留意点	備考
<b>吹雪の街を</b>		
全般	①Smort. (スモルト、92小節)は「消え入るように」の意 ②スタッカートの4分音符は短すぎず、長すぎずに	全
17～24小節	m p のパートは少し控えて (T1 と T2 の旋律を支えて)	全
26～28小節	“ともしびに一みだれるまち”は一気に。特に“みだれるまち”はつないで	全
34小節	“いずれ…”で“ず”のZ子音をハッキリと	全
36小節	“…いって”で“て”をシッカリ出して (音程と長さに注意)	T1
53～61小節	①m p → m f → f への強さの変化を明確に。特に、60～61小節まで f のままで ②“まつげのなみだと…”は“の”で途切れずに続けて (3回)	全
74～85小節	①ハミングのパートはBs が歌う物語を回想しながら歌って ②76～77小節のドーラシーの音程をシッカリと ③84小節のレ#の音程をシッカリと	T1・T2・Br T2 T1
86～89小節	①“あるいてきたよ”で“た”は口の奥を開けて頭声で ②89小節でレファラシの和音をシッカリ作って	全
91小節	“ふぶきのまちを”でフェルマータに入るタイミングを合わせて	全
<b>なぎさ歩めば</b>		
9/30 男声合唱フェス		
10～11小節	①“…をうつ”で“うつ”をハッキリとそして合わせて ②“とおく”の cresc. はタツプリと	全
12～13小節	”めくるめく”で“めく”の decresc. を意識して T1・T2 の “ひかりの…”につないで	Br・Bs
15～16小節	“しぶきあげて” は cresc. して“て”まで f だが“て”は控えて、さらに p sub.まで弱めて	T1・T2
17～18小節	“ほとぼしる”の“ほ”はH子音を立てて	全
26～27小節	“…出うかぶ”の長い decresc. は途切れずにつないで	全
35～36小節	“さびしき”の“さ”はS子音を立てて	Br・Bs
39～41小節	f → f f から decresc. して m f どまり。改めて p から	全
41～43小節	“あいにかげろう”で“に”で途切れずに	
<b>旅のよろこび</b>		
9/30 男声合唱フェス		
2小節	“…くもが”はレガートで (スタッカートとの差を意識して)	全
7小節	“いまさけぶ”で“け”からは decresc. (cresc. が残らないように)	全
11～12小節	“いま一ころ…”で長音の後の“こ”の入りを遅れずに	全
16～17小節	“いま一しる”で“る”の発声を明るい響きで (33～34、51～52小節も同じ)	全
<b>旅立つ日</b>		
9/30 男声合唱フェス		
1小節	“ゆけ”で“け”の4分音符の長さを保って 18, 22, 31 も	全
6小節	“…こそはて…”で“は”の入りが遅れる傾向がある.注意	全
9小節	“くさはら…”で“く”のK子音を立てて	Br・Bs
13～14小節	“アア”のアクセントを強調して (26～27小節も)	全
24～26小節	①臨時記号の音程をシッカリ。ここは T2 が主旋律 ②“いざなう”で“う”は口の奥を開けて発声 (頭声)	全 (T2)

\* 歌い方は歌い込みとともに改善されるものなので最新のテキストを優先してください。

T1 : 市村